

From 投稿コーナー

投稿コーナーに寄せられたみなさんの意見・感想を大公開！「同じこと考えてる」とか、「まったく違うなあ」とかいろいろ見えてくることもあるかも？！



前回のワンテーマ投稿

あなたは犬派？猫派？それとも…？

期間：2008.5～2008.8

■ 犬派 60票 ■

理由は…

- *家で飼ってるから
- *心の底からいやされる
- *たまらないかわいさ！！
- *しっぽをふってくれる♡
- *頭がいいし、芸をする

■ 猫派 33票 ■

理由は…

- *鳴き声がかわいい♪
- *自由な感じがいい
- *一緒にいると和む
- *ふわふわしててキュート

■ その他 16票 ■

たとえば…

- | | | |
|------|--------|-------|
| *パンダ | *さる | *ライオン |
| *ねずみ | *ハムスター | |
| *くま | *うさぎ | …などなど |

55%が犬派という結果になりました！！

犬なら“ゴールデン・レトリバー”“パピヨン”“チワワ”、
猫は“三毛猫”“クロ猫”など、種類指定のこだわり投稿が多かったです。
なかには“自分派”なんていうご意見も◎
投稿してくれたみなさん、ありがとうございました。



ワンテーマ投稿『わたしの好きな作家ベスト3』募集中！

1月からは『この1年間、中学・高校生活で1番嬉しかったこと』を募集する予定です。ほかに、フリー投稿も随時募集中！何か思いついたことがあったら投稿してください。読んで楽しくなっちゃうような投稿、お待ちしております♪投稿用紙とポストは、ティーンズコーナーの展示スペースにあります。みんなからの投稿は、担当者がコメントをつけてほしい2週間ごとに掲示していますのでお楽しみに♪

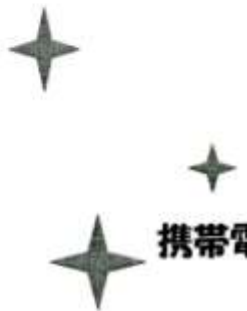
「ティーンズコーナー」第10回はいかがでしたか？次回も、ぜひにお会いしましょう。
秋になると、準備のためかお座が減ります。これって私だけ？(ノロ)
寒い季節、毛布の季節。毛布にくるまって、いつでも選んでいたい…(ぢゅん)
涼しくなって行動的になる人間だけではないので、心が背後に虫くんが！大久保図書館は野生の(主観)。(笑)



2008年11月
ヤングアダルト通信
vol.10

習志野市立大久保図書館
習志野市本大久保 3-8-19
TEL 047-475-3213

【PC版】<http://www.city.narashino.chiba.jp/toshokan/>
【携帯版】<https://m.narashino-lib.jp/>



携帯電話のサービスが始まりました。

資料の検索や予約ができます！



QRコード



ティーンズコーナー BOOK NABI

秋

秋といえば…

芸術の秋、食欲の秋、読書の秋…みんなはどんな秋をすごしていますか？
今回は“秋”をテーマにいろいろ紹介します。読書の秋に、ぜひ読んでみてね♪



『オチケン!』 大倉 崇裕/作 理論社

芸術の秋、人と違うものを!という人には落語はいかが？
落語といっても、この本は、有名な落語の断(はなし)と部室獲得を狙うサークル間の争いに関わる謎を解く…といったミステリー仕立ての小説。落語の入門書的要素と、主人公の大学生越智健一や落語研究会の先輩たちの魅力との相乗効果で、さくっと読めます。中篇2篇と、作者さんのエッセイを読んだ後は、それまでよりずっと落語が身近に感じられちゃいます。

オチケン!
大倉崇裕



『君はこの映画を見たか!』 吉村 英夫/著 大月書店

“若い時代の必見名画100選”というサブタイトルどおりティーンズ世代の時期にぜひ見て欲しいという映画がラインナップされています。出版年が2000年なので、残念ながら最新作についての記述がありません。ですが、古典名作は本も映画も世代を超えて愛され続けていくのです。この本では、簡単なあらすじはもちろん、俳優や監督に関する情報そして映画の基礎的な知識も得られちゃいます。DVDやテレビで映画を観ようという時に、この本はきっと役に立つはず。映画を好きな人には、ぜひ♪

『はなのとおきスイーツBOOK』 はな/著 講談社

いろいろな秋はあるけれど、やっぱり秋は涼しくなって食欲も出てくる季節〜という人には、こちらをおススメ。食べるだけでなく、実際に自分で作ってみたら美味しさも倍増★
この本では難しい道具は必要なく、材料も比較的身近なもので作れるスイーツを紹介していて、文庫判ながら写真も多くわかりやすいです。ラッピングについての提案もあるので、誰かにお菓子を作ってプレゼントしたいというときにも使える1冊ですよ。バレンタインデーに手作りを贈ろうと計画中の人!!事前練習にもなるかも〜???

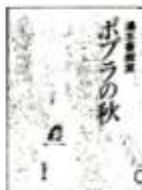
『楽隊のうさぎ』 中沢 けい/著 新潮社

心を灰色に塗り固める左官屋を心に存在させることで、自分を守っていた臆病な性格の主人公の克久。中学生になって吹奏楽部へ入部し、練習の苦しさや演奏の楽しさに触れたことで、そんな心が変化し成長していきます。
通学途中に公園で見たうさぎが、いつしか克久の心の中の左官屋と入れ替わっていて、同級生に絡まれてピンチ!って時などに、ひょっこり心に現れ、指揮棒ふりふり克久をアドバイスしたり…そんな表現も面白い小説です。



『ポプラの秋』 湯本 香樹実/著 新潮社

「ポプラ荘のおばあさん」が亡くなったとの突然の知らせ。おばあさんはポプラ荘の大家だった。6歳の時、父が亡くなり母と越してきて、10歳の時、母が再婚するまで暮らした庭にポプラの木があるアパート…。おばあさんは私との約束を守って、長生きしてくれた。お葬式に向かう私は、あの頃の事を思い出す。
昔、父を亡くしたショックの残る私に、おばあさんは奇妙な話を打ちかけたのだ。そして私は…。



『クララ白書 I・II』 氷室 冴子/著 集英社

主人公「桂木しのぶ」通称「レーの」は学校ではちょっと知られた中学3年生。家の事情で徳心学園中等科の女子寮クララ舎に入ることになってしまった。そこで出会ったおしゃべりな「菊花」やちょっと変わった「蛇ふりのマッキー」と協力し、変な入団式を乗り越える。そしてクララ舎での生活にも慣れた秋、なんと「レーの」は中・高合同学園祭で高等部の古典文学研究会の劇の主演をやることに。果たして中学最後の学園祭は成功するのか!



『秋の花』 北村 薫/著 東京創元社

死んだあの子の家の庭に秋海棠の花が咲いている…。私より3つ年下のあの子は学園祭の前日、高校の屋上から落ちて死んでしまった。なぜあの子は落ちたのか?あの子とあの子の幼なじみのこの子との間になにがあったのか?
秋の夜に切ないミステリーはいかがでしょうか?



my favorite

talk 4:// SWEETS

食欲の秋、はもう過ぎつつありますが、みなさんの好きな食べものはなんですか?わたしは、何といっても甘いもの!滅多に自分で作ることはありませんが、1年に1回位、すこ〜くお菓子を作りたくなっています。

その原点は、小学生の頃に読んだ「大草原の小さな家」シリーズ。お母さんと小さな娘たちが一緒に作る素朴なパンケーキやアイスクリームに憧れました。そのせいか、今でも「パティシエ」の技を駆使した繊細なスイーツよりマフィンやバナナケーキといったアメリカン・カントリー風の焼きっぱなしのお菓子のほうが好きなのです。

食べるのはもちろんですが、お菓子の本を眺めるのも楽しいもの。↑は表紙の「マルチーズケーキ」をはじめキュートで笑えるレシピがたくさん載っていて、見るだけでシアワセな気持ちになれますよ。

(いさみ) (出典)

大草原の小さな家

